

## 本書の特色

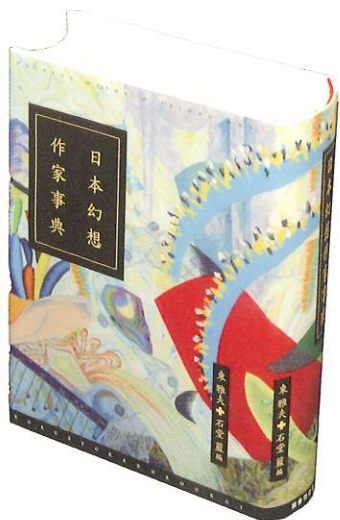
- ① 一九九一年に刊行され反響を呼んだ『日本幻想作家名鑑』（幻想文学出版局刊）を、大幅に増補改訂。旧著の三倍を超える分量。
- ② 『古事記』『竹取物語』『雨月物語』といった古典文学から、泉鏡花、夢野久作、中島敦などの近代作家、村上春樹、京極夏彦、小川洋子等々の現代作家やライトノベルの書き手まで、わが国の怪奇幻想文学、ホラー、ファンタジー、メルヘン、伝奇小説、SF等の分野に関わる古今の作家作品をことごとく網羅した大事典。
- ③ 三千を超える項目を収録。千頁を超える空前の情報量。
- ④ 巻末には、「怪奇幻想漫画家事典」（約二百頁、作家数三百余名）と「怪奇幻想映像小史」を附録として掲載し、文学以外のメディアにおける幻想作家・作品についても解説。漫画・映画愛好家にも必携の事典。

▲東雅夫▼一九五八年生まれ。文芸評論家、アンソロジースト。「幽」編集長、元『幻想文学』編集長。著書に『怪談文芸ハンドブック』『百物語の怪談史』、編纂書に『文豪怪談傑作選』『響鬼探究』他多数。  
▲石堂藍▼一九六〇年生まれ。文芸評論家。編纂書に『ファンタジー・ブックガイド』『幻想文学1500ブックガイド』『世界文学あらすじ大事典』等。

【体裁】A5判／上製／カバー装／1060頁

【定価】7980円（税込）

2009年10月下旬刊予定



販売対象：  
中学校・高等学校図書館、大学図書館、文学部日本文学科・  
その他学識研究者、市町村立図書館、文学館、怪奇幻想文学・  
ファンタジー・SF・漫画などの愛好家。

# 日本幻想作家事典

東雅夫／石堂藍・編

ファンタジー、ホラー、メルヘン、  
伝奇小説、怪談、SF

古典から現代まで

わが国の《幻想文学》の全体像を提示する

初めての大事典!!

「怪奇幻想漫画家事典」も併録。

国書刊行会



国書刊行会

〒174-0056 東京都板橋区志村 1-13-15 TEL.03-5970-7421 FAX.03-5970-7427  
http://www.kokusho.co.jp e-mail: sales@kokusho.co.jp

★取扱店

★申込書 ご記入後、お近くの書店へお持ちください。

国書刊行会『日本幻想作家事典』を 冊 注文します。

お名前

ご住所

お電話



# 金字塔的な出版

紀田順一郎  
(作家・神奈川近代文学館館長)

東雅夫・石堂藍編『日本幻想作家事典』が、いよいよ刊行される。十八年前の『日本幻想作家名鑑』の増補改訂版だが、この間に目眩くような飛躍を遂げた幻想文学の全体像を網羅した点において、あるいは情報の精密さにおいて、まことに画期的な内容である。

アーサー・マッケンの『輝ける金字塔』は、辺境に姿を現した、小さな、あまり注意を惹かない記号や表象に、想像外の意味が発見され、それが急速に拡大して遂には日常世界を脅かすにいたるといふ筋立てであるが、考えるまでもなく、これは幻想文学自体のアナロジでもある。この十数年間、ホラー、ファンタジー、メルヘンを中心に伝奇小説、SFなど、かつては境界の文学にすぎなかったものが、幻想文学という概念に収斂し、それによって大きな意味と存在感を獲得、新たな創造世界をリードするにいたった。本書はその格好の見取図である。広く現代文学に関心ある読者に、座右の書として推奨したい。



本書を推薦します

## 21世紀末までもつ傑作

金原瑞人  
(翻訳家・法政大学教授)

18世紀、ノヴァーリスは人類のあらゆる知識を網羅した『百科全書学』を作ろうとして、ほとんど構想の段階で挫折したけど、21世紀、日本のあらゆる幻想作家を網羅した事典はこの通り実現してしまっただけでなく、幻想文学愛好家にとつて、かゆいところに手が届きっぱなしの一冊。労作というよりは傑作というべきだろう。この『日本幻想作家事典』を増補・改訂していけば、21世紀末まで十分もつと思う。東雅夫と石堂藍が、現代日本において初めてなした奇跡を、心から言祝ぎたい。

### ● 本篇の構成

〔超自然的・非現実的な事象を主要なモチーフとする文学作品〕の書き手の事典。いわゆる怪奇幻想小説やメルヘン、ファンタジー、ホラー、伝奇小説、SFのほか、ミステリー、時代小説、冒険小説などの境界領域に位置する作品までを、一般向け、ジュヴナイル等の別なく対象とした。

古事記・宇津保物語・平家物語等の神話や物語、源内・秋成・馬琴、南北等の江戸の文人、露伴・鏡花・谷崎・川端・三島等の近代の文豪、京極夏彦・小川洋子等の現代作家やライトノベルの書き手など、怪奇幻想文学の主要な作家作品約三千を網羅し、幻想文学関連の業績に重点をおいて記述。さらに重要作には詳しい内容紹介を施した。怪奇幻想文学世界を渉猟するための地図の一枚となるように構成。

### ● 附録

#### 【怪奇幻想漫画家事典篇】

怪奇幻想漫画の主な作者を取り上げた本格的な作家事典。漫画研究者、漫画愛好家必携の事典。漫画家数335名。言及作品数約3000作。別立て作品数300余。

手塚治虫・石ノ森章太郎・横山光輝・椋岡かずお・水木しげる・つげ義春・萩尾望都・竹宮惠子・大島弓子・山岸凉子といった作家たちをはじめ、ファンタジー漫画の元祖である権島勝一・宮尾しげを・杉浦茂等昭和前期の漫画家たち、「黄金バット」の永松健夫、「少年ケニヤ」の山川惣二、「空魔X団」の小松崎茂、さらには尾田栄一郎・CLAMP、荒川弘らの近年の作家までを記述。

#### 【怪奇幻想映像小史篇】

怪奇幻想的な映画・ドラマ・アニメーションを概説。怪奇幻想文学をもとにした作品、オリジナルの怪奇幻想映画やドラマ、さらに特撮物全般、ファンタジーアニメなどについて通史的に概観。取り上げた作品数は約770。

## あさぐれ

けて病院のベッドで寝たきり状態にある男が、襲われた際に左の眼窩から飛び出した目玉が送ってくる外界の映像を手がかりに事件の真相を探ろうとする『左眼を忘れた男』(〇一・同)、触覚をモチーフにしたSFホラー『針』(〇四・早川書房)がある。このほか、アンチユートピア物のSF『夜聖の少年』(二〇〇〇・徳間デュアル文庫)、エルサレムの下土が目覚め、人間たちの妨害にもめげずに母なる海へと進んでいくという諷刺的寓話『似非エルサレム記』(〇三・集英社)、魔法使いとの追いつ追われつをゲームブック風に描いたホラーコメディ『悪夢はダブルでやってくる』(〇五・小学館)、メタフィクションや表紙面で実験を試みた作品をはじめ、バラエティに富む小品を収録する短篇集『実験小説ぬ』(〇五・光文社文庫)など、様々な怪奇幻想系作品を執筆している。

作家の名前(読み)・生没年・経歴・代表作など、作家の概要を分かりやすく記述

組見本●実寸

子を取り取るという主筋で、冒頭で帝の寵姫・玉藻が妖狐だと説明されるが最後にそれが、妖狐を討つと見せかけて皇子を討つためのほかりとどつたことがわかり、討たれた皇子の魂を教化するために殺生石を割る『玉藻前職』(五一／寛延四、安田蛙桂、浪岡橋平との合作)などがある。

浅田次郎(あさだ・じろう 一九五一-)本名岩戸康次郎。東京生。中央大学杉並高校卒。自衛隊員など様々な職を経て、自身の体験に基づき『エッセー』とられてたまるか! (九二)でデビュー。まもなく小説に手を染め、九五年『地下鉄に乗って』(九四・徳間書店)で吉川英治文学新人賞を受賞。九七年には『鉄道員』で直木賞、二〇〇〇年に『壬生義士伝』(二〇〇〇)で柴田錬三郎賞を受賞した。ロマンス・ミステリ・SFなど幅広いジャンルで活躍するが、怪奇幻想小説の分野でもそれは変わらず、ほとんどの作品がしみじみとした泣かせるファンタジーや怪奇小説となっている。サラリーマンが地下鉄の駅を基点として過去と未来を往還し、わだかまりのある父の姿などを見聞する『地下鉄に乗って』、京都太秦の映画撮影所を舞台に、現代の大学生と戦前の大女優の幽霊との恋を描いた『活動写真の女』(九七・双葉社) 突然死した中年男をはじめ、死にきれない人々が限定的にのみがえって人生を見つめ直す『椿山課長の七日間』(〇二)

朝日新聞社)、貧乏神や疫病神ばかりか死神にまで取り憑かれてしまった下級武士を描く『コメデイ』(〇五・新潮社)、異界のエロティシズムがたゆたう『骨の来歴』(客人)、ドッベルゲンガーを扱った『虫籠』(ほか全七篇を収録する怪談集『あやし』うらめしあかなし』(〇六・双葉社)などの作品がある。

【鉄道員】短篇集。九七年集英社刊。抒情味溢れるジェントル・ゴースト・ストーリーを中心にした短篇集で、第一一七回直木賞受賞。怪談集による同賞の受賞は史上初の出来事で、日本怪奇幻想文学史において画期的な出来事となった。全八篇を収録するが、うち三篇が、映像化され、本書もミリオンセラーを記録するなど、ジェントル・ゴースト・ストーリーの普及に果たした役割には多大なものがある。表題作は、鉄道員一筋に生きて孤独な老境を迎えた男の前に、死んだ娘が成長した姿で出没する物語で、九九年に映画化された大ヒットした。ほかに、婚家で虐められる身寄りのない女のもとに死んだはずの祖父が訪ねてくる『うらぼんえ』、身も心も打ちひしがれた男の前にかつて彼を捨てた父が顕れる『角筈にて』など。

作品刊行年、出版社を明記ブックガイドとしても最適

重要な作品は別に項目を起こして詳細に記述